



【この活動の概要】

主な活動	海外大学との合同ワークショップ
関係機関	ベルギー・ゲント大学
実施時期	2009年9月～毎年1回継続的に開催
参加者数	毎年10名弱 最近では2012年9名、2013年7名、2014年8名、 2015年6名

【先生に直接聞いてみました】

Q どのようなプログラムか？

A ベルギー・ゲント大学で国際ワークショップを毎年開催しています。商学部のプロセスイノベーター育成プログラム(Data Mining and Service Science for Innovationプログラム、以下 DSIプログラム)に参加する学生がゲント大学を訪問し、各自の研究テーマについて発表を行います。

Q DSIプログラムとは？

A DSIプログラムは、2008年度に文部科学省の委託事業「産学連携による実践型人材育成事業」に採択されました「プロセスイノベーター育成プログラムの開発」で開発したプログラムで、関西大学 商学部で提唱している、高度な統計数理、データマイニングに関する知識と社会科学の素養を培い、ビジネスプロセスを科学的かつ実践的に解明できる人材を育成します。

Q 国際ワークショップとは、具体的にどのような活動か？

A DSIプログラムでは企業との連携のもと、大規模データの分析、企画立案、提案等の活動を行っており、この集大成として、ゲント大学の Dirk Van den Poel 教授と同 MMA(Master of Marketing Analysis)プログラムの大学院生に向けて、毎年一回発表を行っています。



Q 学生はどんなテーマで発表をされているか？

A 例えば2015年の例でいうと、関西大手スーパーにおける商品改廃、アイトラッキング(視線情報)を用いた小売業の取り組み、関西大手スーパーにおける販売力の高い「青果エリア」に関する分析といったテーマでした。

Q 本学の学生の反応は？

A 企業から求められるのは、実際にビジネスとして成立するプランです。その提案のためには、自ら問題を発見し、それを解決へと導き、利益に結びつく企画を立て、そしてプレゼンテーションするといった能力が必要となります。加えて英語での発表という大きな壁が立ちほだかります。限られた期間の中で、多くの課題を解決しなければならないプレッシャーに、悔し涙を流す学生も少なくありません。そんな学生に対しては、彼らの話をとことん聞いてやり、自ら解決の糸口を見出せるよう見守ります。



(写真)学生による発表の様子

Q 費用は？

A 商学部の特別プログラムとして、商学部の予算を用いて運用しています。文科省からの委託事業で行っていたときよりも、学生の探求心を満たすことができる環境が整い、研究の幅も広がっています。

Q 今後の展開は？

A これまでは本学からは学部の学生を派遣していましたが(先方は大学院)、今後は大学院同士の高度な研究交流を計画中です。



【関係者紹介】

矢田 勝俊(商学部 教授)

大学院時代から複数の企業内で情報化の現場経験を積み、大規模データの戦略的利用、データマイニングのビジネス応用に関して研究。DSI プログラム統括責任者のほか、データサイエンス研究センターのセンター長、大阪大学の招へい教授、国際会議の議長などを務める。



高井 啓二(商学部 准教授)

潜在変数や欠測データを用いた統計的モデルの開発や、消費者行動データの分析法を研究。著書『欠測データの統計科学—医学と社会科学への応用』を2016年4月に発刊。複数の国際誌の査読委員を務める。



【参考 URL】

- ・2009年9月15、16日開催分
http://www2.itc.kansai-u.ac.jp/~yada/DSI/schedule/2009/09/post_11.html
- ・2011年9月12日開催分
http://www2.itc.kansai-u.ac.jp/~yada/DSI/schedule/2011/09/post_18.html
- ・2012年9月13日開催分
http://www2.itc.kansai-u.ac.jp/~yada/DSI/schedule/2012/09/post_23.html
- ・2013年9月12日開催分
http://www2.itc.kansai-u.ac.jp/~yada/DSI/schedule/2013/09/post_26.html
- ・2014年9月12日開催分
http://www2.itc.kansai-u.ac.jp/~yada/DSI/schedule/2014/09/post_31.html
- ・2015年9月14日開催分
http://www2.itc.kansai-u.ac.jp/~yada/DSI/schedule/2015/09/post_35.html

発行: 関西大学国際部 <http://www.kansai-u.ac.jp/Kokusai/>